

～ 事業の概要 ～

本市場大淵線は、県道富士由比線（旧国道1号）を起点に、東名高速道路、国道139号、新東名高速道路を結ぶ全長6.1kmの都市計画道路です。

岳南都市圏の主要拠点である新富士インターチェンジや交通結節点であるJR富士駅、新富士駅へのアクセス機能、緊急輸送路等の防災機能を有する重要な道路です。

これまでに本市場地区と大淵地区の約2kmが整備され、沿道には店舗や大型倉庫の建設が進んでいます。

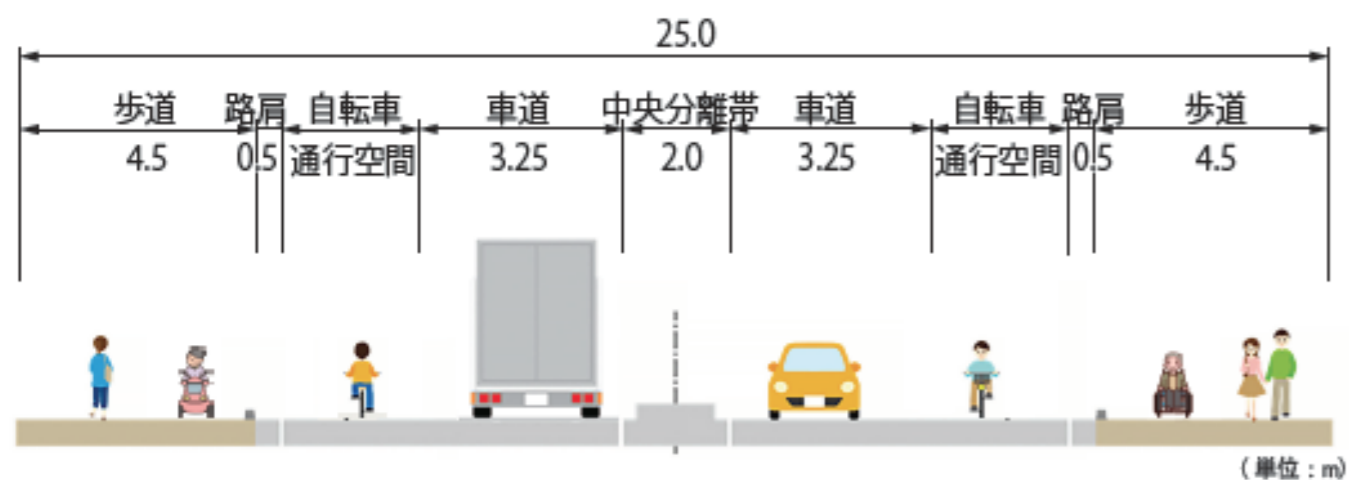
本事業の進捗により、都市の賑わいや利便性、産業の活性化が期待されます。

令和3年9月に伝法工区（市道弥生線～県道富士富士宮線間）延長約831mが2車線暫定開通します。

～ 開通区間の概要 ～

路線名	都市計画道路本市場大淵線(伝法工区)
事業主体	静岡県
事業箇所	富士市香西新田から伝法
延長	L=830.8m
道路区分	第4種第1級
設計速度	60km/h
全幅員	25.0m(一般部)、27.0m(交差点部)
歩道幅員	4.5m

標準横断図(伝法工区：暫定2車線)



事業効果① 交通の円滑化

- 富士市中心市街地と市北部を結ぶ新たな南北方向の幹線軸を形成します。
- 新設道路へ交通が転換することにより、周辺道路の交通量が減少し混雑が緩和されます。



事業効果② 道路の安全性向上

- 新設道路へ交通が転換することにより、生活道路の安全性が向上します。
- 広幅員の自歩道整備により自転車・歩行者の安全性と利便性が向上します。



事業効果③ 地域の活性化促進

- 都市計画道路の整備により店舗や物流施設が立地し、市街化が促進されます。

